

週報 第3152回

会長 植村 勢彦 副会長 原 正人
幹事 渡辺 万寿 SAA 西田 佳郎

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会(2022年3月18日)

■ プログラム

卓話担当 瀧谷 達 会員

■ 次週のプログラム

3月25日:卓話担当 齋野 信 会員

■ 今後の予定

- ・4月1日:クラブフォーラム 櫻井 善章 親睦活動委員長
- ・4月8日:定款の規定により例会休会

■ 祝 誕生日

釜野 典子(19日)
白谷 喜世彦(21日)
砂原 孝史(23日)

■ 今月のロータリーソング

奉仕の理想

今月の歌

早春賦

春は名のみの 風の寒さや
谷のうぐいす 歌は思えど
時にあらずと 声もたてず
時にあらずと 声もたてず

■ 先週の例会

会長の時間

ロシアのウクライナ侵攻が激化する中、先週にウクライナ救援活動支援金についてお願いしていますが、今週はじめて地区からもロータリー財団からも要請がありました。しかし送金手段については調整中です。後日取りまとめてご報告致します。(My Rotary・大使館・その他)



植村 勢彦 会長

今日は東日本大震災が起きた日です。あれから11年経ちますが、未だに復興は出来ていませんし、遺族の方・地域の方々の悲しみは癒えません。入会10年未満の会員が約半数居りますので、当時のお話をさせて頂きます。震災の半年後の2011年9月位に、当時私は社会奉仕委員会の委員長でしたので、縁あって岩手県大船渡西ロータリークラブの復興支援委員長の濱守さんと、コンタクトを取り合いました。震災の翌年の2012年1月23日・24日に当時の榎本会長と高寺パスト会長、南出エレクト、私と他2名の計6人で訪問しました。雪の降る寒い日でしたが、花巻空港からレンタカーを借りて、雪道を走って

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3152回

大船渡迄行きました。事務局も津波で流されましたので、美容院の2階を間借りしている状態でした。メンバーの1/3が自宅を被災され、1/3が会社を被災され、残りの1/3は両方無事だったそうです。震災後の例会は、3ヶ月後くらいに月1・2回と段々と再開したと聞いています。この混乱期にロータリークラブの活動に感銘して、2名の新入会員が入会されたことも聞き驚きました。一人はサンマ漁船の船主で、ホテルの近くで活け魚料理店を、1年前にオープンして直ぐに被災し、ショックで気が抜けたそうです。その後プレハブの屋台村で再開し、ロータリアンもここで親睦を図っていました。当然のこと私達も行きました。店主いわく幸い家族が無事だったので、再開できたと言っていました。やはり【家族の絆】は強いのです。濱守さんに色々案内してもらいました。少年野球のグラウンド造成事業を、ロータリー復興支援基金を申請し約半年で完成しました。この時濱守さんが、ここに一人いい選手がおると言っていたのが、後に大船渡高校からドラフト1位で、千葉ロッテマリーンズに入団した、【令和の怪物】佐々木朗希投手です。震災当時彼は9歳でしたが、最愛のお父さん(37歳)と祖父母が津波で亡くしています。またロータリアン達も被災しているにも関わらず、46のプロジェクトを立上げ実現に向けて取り組んでいました。避難所にいる障害者のグループホームの再建現場も見に行きました。私はこの時、東北の人は辛抱強いなあと感心しました。当時の大船渡商工会議所会頭でロータリアンでもある、「かもめの玉子」のさいう製菓の会社も見学し、ここで泉大津ロータリークラブの復興支援事業として、大船渡西ロータリークラブが計画している【鎮魂愛の鐘】設置プロジェクトに参画する事に成りました。100万円の寄贈です。毎年3月11日午後2時46分に自動で鐘を鳴らし、大震災を「忘れない・風化させない」為です。帰りは、大船渡から仙台空港まで約200km走りながら、途中で陸前高田(一本松)・気仙沼・名取市の閑上地区も見えました。津波の恐ろしさを目のあたりにして、あの光景が今も忘れられません。そして翌年の2013年3月10日(日曜日)に、【鎮魂愛の鐘】の竣工式に、当時の会長の高寺パスト会長

と、渡辺幹事(社会奉仕委員長)と私と3人で参加しました。当日はお天気も良く快晴でしたが、とても寒くて渡辺幹事のマフラーを借り、今でもあの温もりは忘れません。全国から多くの仲間も参加し、濱守さんや関係者が、午後2時46分に鐘が鳴った瞬間に、今迄の苦労と超成に安堵して涙を流している姿を見て、これが「超我の奉仕」と言うものかと実感しました。その後近くの式典会場に移動して、記念式典にも参加しました。高寺パスト会長が壇上で感謝状を授与されました。同じテーブルには大阪北ロータリークラブの鴻池さんや、東京国立ロータリークラブの方々も同席しましたが、やはり品格があるなあと思いました。翌日は3人で仙台空港へ行く途中で、前回と同じコースを走り進捗状況も見て帰りました。ちなみに泉大津さんま祭りは、これを機会に発展されたものです。昨年の震災の日が10周年にあたり、色んな方のコメントが有りましたが、印象に残ったのが歌手のミーシャが、「悲しみには節目がありません」と言う一言がとても心に響きました。そして濱守さんは3年後に、70を過ぎてガバナーになられました。熱い情熱には只々感心です。最後になりますが、此れからも復興されることを御祈念申し上げます。そして【備えあれば患いなし】です。いざという時の為に、最低限の防災用品を備蓄しておきましょう。そして昔から奈良のお水取りが終わるまで寒いと言われています。日中の寒暖差が10℃以上もあります。くれぐれも体調管理に気をつけて下さい。

■ 幹事報告

渡辺 万寿 幹事

- ガバナー月信3月号が発行されておりますので皆さん、地区ホームページをご覧下さい。又、5部ほどプリントアウトされたものがありますので、必要な方はお持ち帰り下さい
- 先日3月9日(水)2640地区大会記念ゴルフ大会に当クラブより8名が参加致しました
- 来週16日(水)は事務局を臨時休業させて頂きます

■ 委員会報告

○3月23日(水)泉大津市役所において献血事業を開催致しますので皆さん、ご協力よろしくお願い致します。先日お願いのFAXをさせて頂きました、ご提供品して頂ける方は、3月17日(木)までに事務局の方までFAXよろしくお願い致します

(瀧谷 達 社会奉仕委員長)

○本日例会終了後、くすの木の間において、会報・IT委員会と親睦活動委員会との合同委員会がございまして、メンバーの方ご参加よろしくお願い致します

(山本 博章 会報・IT委員長)

○FAXでもご案内差し上げたと思いますが、4月10日(日)に予定しておりました家族例会ですが、6月5日(日)に変更することになりましたのでご案内申し上げます。4月8日(金)の例会は予定通り休会となっておりますのでお間違えの無いようよろしくお願い致します

(櫻井 善章 親睦活動委員長)

■ ビジター

なし

■ 出席報告 会員数43名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
3/11	35名	8名	—	81.40%
2/25	32名	11名	3名	81.40%

■ メークアップ

榎本(3/4 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
松内(3/11 会報・IT、親睦活動合同委員会)
白谷(3/4 理事役員会)

■ ニコニコ箱

- ・丹農さん、本日の卓話宜しくお願いします(植村)
- ・丹農様、本日は宜しくお願い致します(渡辺)
- ・丹農様、本日は卓話宜しくお願いいたします(西田)
- ・欠席のおわび(高寺)

ニコニコ箱合計	11,000円
累計	589,000円

先週のプログラム 「仏教的観点からコロナウイルスはどうであるか」

十 界 卓話担当 丹農 秀知 会員

悟	如来	自らも悟り、又他をも悟らせつつあるもの。自他平等の状態。
	菩薩	他と共に悟りを得ようとして願をおこし、修行しているもの。初めて自己を超えた状態。
	縁覚	生活の中から独り悟りを見つけた状態。生活者。
	声聞	教えを聞くことによって真理を学びとろうとしている状態。学生。



迷	天	勝れた楽を受けるが、なお苦を免れない。求めることはすべて満たされた人間の最高の状態。しかしそこにもなお苦がつきまとう。
	人間	墮落することもできるし悟ることもできる。そういう間期的存在。地獄と仏の間、人と人の間、生と死の間。
	阿修羅	嫉妬心が強く、常に不安がつきまとい戦いばかりやっている状態。
	畜生	互いに他を餌食として生長し、自分のことしか見えない状態。
	餓鬼	飲食が得られないために苦の止む時がない。欲求不満の状態。
	地獄	極苦処ともいう。生きていることすべてが苦であるという状態。

幸せになりたいの嫌よ、貴方と別々になんて...そんなの私じゃないから、一生私の愛する人は貴方だから。おねがい

結婚前の貴方(右から読んでね)あれから四十年(左から読んでね)

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3152回

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか